

磐田市平和祈念式「平和への想い」

広島派遣を受けて、自分の中で大きな変化がありました。それは「平和に対する考え」です。

今まで、平和とは何不自由なく暮らすことができ、悲しみや苦しみが無いことだと思っていました。しかし、いろいろなことを見聞きしていくうちに、その考えが少しずつ変わっていきました。

今、私が思う平和は「戦争と核兵器のない世界」です。

この地球という星には一万二千七百二十発もの核兵器があります。これらを全て使うと、人類に甚大な被害が出ると予想されています。また、ロシアのウクライナ侵攻など世界数カ所で人と人同士の争いが起こっています。関わりの無い人たちが、幼い子供たちが、日常を奪われ、先の見通せない日々を送っています。

今の日本は、様々な問題を抱えているものの、戦争といったことは起きていません。しかし、「過去」にあったということは、決して忘れてはなりません。そして、二度と繰り返してはいけません。

昨今の世界情勢は、とても不安定であるとともに、ウクライナ侵攻、台湾有事など戦争・紛争が起こり、さらに拡大していく様相でもあります。さらにロシアに関しては核兵器の使用を示唆するなど、「核兵器根絶」という人類共通の願いが危ぶまれている状況です。

このような状況の中、私たちにできることは、これらの現実を幅広い世代へ伝え、後世に繋いでいくことだと思います。ただ、伝えて終わりではなく、粘り強く伝え続け、私たちが学んだことのように平和に対する思いを持たせることも重要です。

「歴史にifはない。」—それはすなわち、未来は変えられるということです。今の世代は戦争や核兵器に対する考えは薄れてしまっていますが、私が生まれた日本では過去に何があったのか、世界はどういう状況なのか、少しでも良い未来が築けるように、皆で一つとなって教え合っていきたいと思います。

人類の歴史上初の被爆国、日本。この不名誉な出来事が、これで最後になることを強く願います。また、戦争によって命を落とした方々には、心から哀悼の意を表します。

最後に、広島平和記念式典中学生派遣に関わってくださった市役所の皆様、保護者の方々に心から感謝申し上げます。そして、共に広島の地に赴き、支えてくださった関係者の方々、広島派遣をよりよいものにしてくれた他校の中学生の皆さん、本当にありがとうございました。

一日でも早く、世界に平和な時が来ることを祈り、願い続けていきます。

令和4年8月15日

代 表 松島 琢哩（磐田市立豊岡中学校）